

フタロシアニンの 応用

日時：2026年9月29日(火)
13:30～15:00

会場：群馬大学桐生キャンパス
総合研究棟303号室

事前申込は不要です。
直接会場へお越しください。

参加費
無料

講師：小林 長夫 氏

東北大学名誉教授／信州大学特任教授／
お茶の水女子大学 教育研究協力員／
理学博士／薬学博士

フタロシアニンやポルフィリンに代表される
機能性色素錯体の第一人者として、
日本の化学界および国際学会を牽引。
日本化学会賞、国際ポルフィリン・
フタロシアニン学会賞など受賞多数。
世界的なフタロシアニン研究・教育に
多大な貢献を果たしている。

フタロシアニン

は青や緑を発色する高性能な有機染料・顔料として、
自動車や新幹線塗装、建築塗料、印刷インキ、プラスチック着色、ジーンズや衣類の青色
などに幅広く使われており、日本では年間 15000 トン以上生産されています。印刷機の電荷
発生物質、コンパクトディスク、原油からの脱硫の触媒としても使われ、消臭・抗菌機能もあり、
マスク、カーテン、下着、ポータブルトイレなど医療・福祉の分野でも応用され、機能物質の
王様と呼ばれています。